

令和元年度

主要施策の成果に関する報告書

北はりま消防組合

主要施策の成果に関する報告

令和元年度一般会計予算は、当初予算額 2,585,056,000円とし、補正予算で 13,659,000円を減額した結果、最終予算額 2,571,397,000円に対し、歳入決算額 2,573,170,113円（予算に対する収入割合100.1%）、歳出決算額 2,549,561,533円（予算に対する支出割合99.2%）で、歳入歳出差引額は、23,608,580円となりました。

実質収支額は、23,608,580円となり、地方自治法第233条の2の規定による基金繰入額を 12,000,000円といたしました。

◎ 令和元年度 決算の状況

（単位：千円）

区 分		一般会計
歳 入 総 額		2,573,171
歳 出 総 額		2,549,562
歳入歳出差引額		23,609
翌年度へ繰り 越すべき財源	継続費遞次繰越額	0
	繰越明許費繰越額	0
	事故繰越し繰越額	0
	計	0
実 質 収 支 額		23,609
実質収支額のうち地方自治法第233条の2の規定による基金繰入額		12,000

1 新しい時代にふさわしい消防の人づくり

財政状況が厳しい中で、よりの確に住民のニーズに応えていくためには、職員の意識改革や個々の能力向上がますます必要となっています。

このため、「職員研修計画」に基づき、業務を公正、安全かつ効率的に遂行するための知識・技術の習得、体力の錬成、資質の向上を図るため、消防大学校、兵庫県消防学校及び神戸市消防学校に93人を派遣するとともに、行政執行能力を高めるために播磨内陸広域行政協議会研修等に73人を派遣しました。

◎ 職員研修

(単位：人)

研修名		派遣人数	
消防大学校	総合教育	幹部科	1
	専科教育	火災調査科	1
兵庫県 消防学校	初任教育		7
	専科教育	特殊災害科	2
		予防査察科	2
		火災調査科	2
		救急科	6
		救助科	2
	幹部教育	初級幹部科	2
	特別教育	災害現場指揮科	2
		通信指令科	2
	救急救命士養成課程		1
	救急救命士追加講習		9
	指導救命士養成研修		1
	山岳用救助器具取扱技術研修		2
	惨事ストレス研修		1
	ポンプ操法研修		39
実火災体験型訓練		10	
神戸市消防学校	機械課程		1
小 計		93	
播磨内陸広域 行政協議会	接遇研修		7
	政策法務研修		3
	ソリューションフォーカス研修		3
	監督職研修		7
	職員研修①		4
	職員研修②		6
	法制執務研修		9
	管理職研修		5
その他	兵庫県市町振興課関係研修		15
	その他の研修		14
小 計		73	
合 計		166	

2 火災予防対策の推進

予防業務につきましては、防火対象物、危険物施設への立入検査の強化に努めるとともに、自主防災組織や各種事業所等の訓練に積極的に参加して、防火意識の啓発を行い、防火管理体制や消防用設備等の適正管理を推進しました。

また、家庭における防火対策として、住宅用火災警報器のみならず、住宅用消火器などの住宅用防災機器や防災品の普及を図り、住宅火災の建物損害額及び焼死者数等被害の軽減対策に取り組みました。

住宅用火災警報器についても、更なる設置を促すとともに、維持管理についても広報により積極的に働きかけました。

◎ 危険物施設の査察状況

施設区分		施設数	査察件数
製造所		15	9
貯蔵所	屋内貯蔵所	170	81
	屋外タンク貯蔵所	120	51
	屋内タンク貯蔵所	29	15
	地下タンク貯蔵所	151	65
	簡易タンク貯蔵所	3	0
	移動タンク貯蔵所	77	66
	屋外貯蔵所	20	6
	小計	570	284
取扱所	給油取扱所	164	81
	販売取扱所	3	1
	一般取扱所	121	87
	小計	288	169
合計		873	462

◎ 事業所等訓練指導状況

(単位：回、人)

	西脇消防署	加西消防署	加東消防署	合計
訓練回数	64	48	58	170
参加人員	128	96	116	340

◎ 住宅用防災機器設置調査状況

(単位：%)

	西脇市	加西市	加東市	多可町	合計
住宅用火災警報器	76.7 (33/43)	82.9 (87/105)	73.3 (44/60)	58.9 (33/56)	74.6 (197/264)
消火器	58.1 (25/43)	55.6 (5/9)	40.0 (24/60)	87.5 (49/56)	61.3 (103/168)
防災品	14.0 (6/43)	55.6 (5/9)	13.3 (8/60)	8.9 (5/56)	14.3 (24/168)

※表中にある () 内の数字は、設置件数/調査件数です。

3 救急業務の充実・高度化

救急救命体制の充実を図るため、職員研修計画に基づき、救急救命士1人を養成するとともに、指導救命士の資格を1人が取得しました。

また、既救急救命士に対しては、気管挿管4人、ビデオ挿管1人、薬剤投与2人の認定資格を取得させるとともに、就業前研修1人、生涯教育53人を実施し、救急救命士の資質の向上に努めました。

救命率の向上を図るため、住民に対し応急手当普及啓発活動（普及員講習、上級救命講習、普通救命講習、一般救急講習）を行い、心肺蘇生法やAED（自動体外式除細動器）の使用方法を習得していただきました。さらに、広報紙やホームページ等で住民の皆さんに救急車の正しい利用について啓発を行い、救急出動件数は6,832件で、平成30年の6,938件から106件の減少となりました。

◎ 病院実習（救急救命士）延べ人員

(単位：人)

実習名	実習等時間	医療機関名	人員
気管挿管	30 症例	西脇市立西脇病院	1
		兵庫県立がんセンター	3
ビデオ挿管	3 症例	西脇市立西脇病院	1
薬剤投与	50 時間	西脇市立西脇病院	1
		市立加西病院	1
就業前研修	32 時間	西脇市立西脇病院	1
	128 時間	兵庫県災害医療センター	
生涯教育	12～24 時間	大山記念病院	13
		市立加西病院	8
		多可赤十字病院	7
	64 時間	兵庫県災害医療センター	13
		兵庫県立加古川医療センター	12
合 計			61

◎ 救命講習会実施状況

(単位：回、人)

講習種別	普通救命講習	上級救命講習	普及員講習	一般救急講習	合計
講習回数	88	2	1	87	178
受講者数	1,353	20	18	2,626	4,017

※上記数字は、平成31年4月から令和2年3月末までの数値です。

4 執務環境整備事業

加西消防署加西南出張所庁舎改修事業
 庁舎老朽化に伴う改修工事を行いました。

(単位：円)

事業名	元年度決算額
加西消防署加西南出張所庁舎改修事業	2,292,000

5 車両更新整備事業

現有車両の更新整備を図り、消防施設整備の充実強化を図りました。

(単位：円)

事業名	事業内容	配置先	金額
消防車両整備事業	連絡車	加東消防署	2,257,200
消防車両整備事業	連絡車	加西南出張所	2,808,000
消防車両整備事業	高規格救急自動車	加東消防署	28,380,000
消防車両整備事業	救助工作車	加西消防署	121,968,000

6 組合債の状況

(単位：円)

区分	平成30年度末 現在高	令和元年度 発行額	令和元年度元利償還額			令和元年度末 現在高
			元金	利子	計	
消防施設 整備事業	1,027,759,787	153,500,000	291,039,674	2,514,975	293,554,649	890,220,113

7 基金の状況

(単位：円)

区分	平成30年度末 現在高	令和元年度		令和元年度末 現在高
		積立額	取崩額	
財政調整基金	27,930,094	11,015,042	0	38,945,136
消防施設整備基金	90,297,914	20,078,887	0	110,376,801